

3年保育3歳児 ふじ組指導案

平成25年10月8日(火)

3歳児ふじ組 計21名

担任 豊田 朋恵

保育補助 荒木 麻耶

1 学級の実態(9月中旬)

(体を動かすことへの取組:◎ 遊び:○ 人との関わり:● 生活:☆ 学級で取り組む活動:□)

◎戸外で遊ぶことを好む幼児が多く、むっくりくまさんの鬼遊びや砂場、のぼり棒、鉄棒、滑り台、かけっこなど、興味をもった場を見つけて教師や好きな友達と一緒に楽しんでいる。

◎むっくりくまさんでは、教師と数人の幼児で遊び始めると、周りの幼児も自然と集まり、教師との追いかかけっこや、やりとりをすることを楽しんでいる。1学期は、みんなと一緒に動いたり、追いかけられたりすることに抵抗があった幼児も、2学期になってしばらくすると、自分から取り組む姿が見られるようになった。

◎教師と一緒に巧技台を使ってはしごや一本橋、滑り台、ジャンプ台などの場をつくり、渡る、跳ぶ、滑るなどして、繰り返し楽しんでいる。

○●ウレタン積み木や衝立、ごさなどを使い、教師や友達と一緒に場をつくって遊ぶ姿が多く見られる。ままごとやヒーローごっこ、お店屋さんごっこなど、教師や友達とやりとりしながら遊ぶことを楽しんでいる。

○広告を丸めた棒や空き箱、芯を使って武器を作ったり、ハートやリボン型の画用紙、紙テープ、お花紙などでアクセサリーを作ったりして遊んでいる。

●教師や好きな友達と同じ場にいたり、同じ物を身に付けたりして関わることを喜んでいる。

●2学期になり、自分の思いを教師や好きな友達に出せるようになってきて、表情が和らいだり、教師との簡単なやりとりを楽しんだりするようになってきた。遊びの中で、物の取り合いや自分の思いを通そうとしてトラブルになる姿が見られるようになり、その都度、教師と一緒に自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしている。

☆身支度や所持品の始末など、自分でできることをしようとする姿が見られる。園服のボタンの掛け外しが難しかった幼児も、教師と一緒にいる中で、少しずつ出来るようになってきたことを喜んでいる。

☆保育時間が長くなったことで、降園前に眠そうにしていたり、なかなか身支度に取り組みなかったりする幼児がいる。

□学級で行う鬼遊びやリズム、手遊びに喜んで参加し、自分なりに動くことを楽しんでいる。

2 学年の重点 (_____は体を動かすことへの取組に関する内容)

○自分でできることは自分でしようとする。

○教師や友達と遊ぶことの楽しさを味わう。

○園生活で安心して自分の思いを出せる。

3 学級の重点

- 自分でできることを進んで行い、自分なりにできた喜びを感じる。
- 教師や友達と喜んで関わり、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 教師との信頼関係を基盤に、安心して自分の思いを出そうとする。

4 期のねらい (Ⅲ期 9月上旬～10月中旬)

- 幼稚園での過ごし方を思い出しながら、自分でできることは自分でしようとする。
- 面白そうな物や友達の動きに関わり、遊びの楽しさを感じるようになる。
- みんなと同じ場であることを楽しむ。

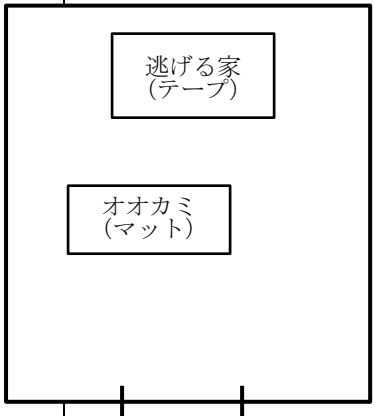
5 本時のねらい

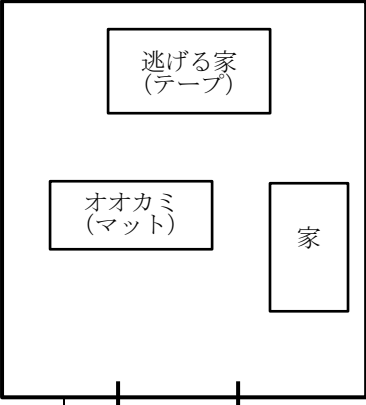
- 教師や友達と一緒に「おおかみさん」の鬼遊びをすることを楽しむ。
- 引越し鬼の遊び方を知り、教師や友達と一緒に動くことを楽しむ。

6 展開 ふじ組保育室→体育館 (12:40～13:00) →保育室

ねらい達成のための教師の援助

時間	幼児の活動	指導内容	教師の援助
12:20	○排泄をする ○リズム「へんしんにん じゃじゃん」	・音楽に合わせて動く ・忍者のイメージを楽しむ	・教師も一緒に音楽に合わせて体を動かし、楽しい雰囲気をつくる。 ・忍者のリズムの楽しさに共感し、忍者のイメージのまま、体育館へ移動できるようにする。
12:30	○体育館に移動する ○忍者の修行をする ・体育館を走り回る ・動物になりきって動く	・階段の約束を守って動く ・教師や友達と一緒に走る術や動物に変身する術をする	・広々とした場で思い切り体を動かせるように、忍者のイメージで声をかける。教師も一緒になりきったり、幼児の姿を認めたりする。
12:40	○「おおかみさん」の鬼遊びをする	・歌を歌いながら散歩したり、合図を聞いて逃げたりする ・おおかみになりきって動き、追いかける ・教師や友達とのやりとりを楽しむ	・音楽に合わせてオオカミ役の教師は身振り手振りをし、イメージが楽しめるようにする。また、お面を用意し、教師と一緒に楽しめるようにする。 ・逃げる幼児が捕まらない程度に追いかけたり、教師に捕まえてもらいたい幼児を食べる真似をしてスキンシップを図ったりしながら繰り返し楽しむようにする。 ・オオカミを怖がる幼児には、教師が手をつなぎ、安心して参加できる方法を探っていく。



<p>12:50</p> <p>○おおかみの引っ越し鬼の遊び方を聞く ○引っ越し鬼をする</p> 	<p>・集まって教師の話聞く ・「ふふふのふ～」の合図で逃げることを知る ・合図を聞いて走って逃げる</p> <p>・オオカミになりたい幼児はお面をかぶって追いかける</p>	<p>・親しんできた絵本のイメージから遊び方を説明する。 ・子ブタの家が分かりやすいようにコーンを置く。 ・オオカミと子ブタにそれぞれ教師が入り、動きのモデルとなって遊びをリードしていく。 ・十分に追いかける時間を取り、早く逃げたい幼児や教師に追いかけて欲しい幼児の思いを受け止めていく。 ・初めて引っ越し鬼を行うので、逃げる陣地（家）の距離は短くし、繰り返し楽しめるようにする。</p>
<p>12:55</p> <p>○集まる</p>	<p>・楽しかったことを伝える</p>	<p>・楽しかった思いを受け止め、次への期待を高める。</p>
<p>13:00</p> <p>○保育室に戻る</p>		
<p>13:15</p> <p>○手洗いうがいをする</p> <p>・お茶を飲む</p>		
<p>13:20</p> <p>○身支度をする</p> <p>・コップ、タオルをしまう ・園服を着る</p>	<p>・タオルをたたんでしまう ・自分で園服を着ようとする ・難しい所は教師に伝えて一緒に行く</p>	<p>・身の回りのことを自分なりに行っている姿を認める。 ・なかなか身支度に取り組まない幼児には、できた部分を具体的に認めたりしながら、自分でやろうとする気持ちをもてるようにする。</p>
<p>13:30</p> <p>○集まる</p> <p>・歌を歌う ・絵本を見る</p>	<p>・学級のみんなど一緒に歌ったり、絵本を見たりする</p>	
<p>13:45</p> <p>○降園準備</p>	<p>・楽しかった気持ちをもって降園する</p>	<p>・一日を振り返り、楽しかった気持ちで、降園できるようにする。</p>
<p>14:00</p> <p>○降園する</p>		

7 評価

○教師や友達と一緒に「おおかみさん」の鬼遊びをし、逃げたり追いかけたりすることを楽しんでいたか。

○引っ越し鬼の遊び方を知り、教師や友達と一緒に動いていたか。